

## 新型コロナウイルスの最新の動き(5月15日付)

在モンリオール日本国総領事館

### ●当館管轄州における感染者数等の現状(5月15日(金)15時現在, 各州政府 HP・記者会見から引用)

	陽性*	死亡	現状の感染者数**	検査済(陰性)	入院者数
QC	41420 (+696)	3401 (+50)	26980 (+436)	274630 (+7319)	1822 (-12) (内 ICU 患者:191 (+1))
(MTL)	21038 (+405)	2182 (+28)	-	-	-
NB	120 (0)	0 (0)	1 (-1)	19713 (+406) ***	0 (0)
NS	1034 (+8)	55 (+4)	61 (-5)	35375 (+371)	9(0) (内 ICU 患者:5 (+1))
PEI	27 (0)	0 (0)	0 (0)	4529	0 (0)
NL	261 (0)	3 (0)	9 (-1)	10346 (+71) ***	3 (0) (内 ICU 患者:1 (0))

(注:括弧内は前日比)

\*当館管轄州は「確定」「推定」の分類ではなく、「陽性(Positive)」「陰性(Negative)」のみの分類表記。但、ケベック州は確定数。

\*\*「現状の感染者数」は、「累計陽性者数」から「治癒者数」と「死亡者数」を差し引いた数(=Active cases)。

\*\*\*陽性数も含めた検査数の合計を表示していることに留意。

### 1 当館からのお知らせ等

◎(5月14日)当館管轄州が発表した規制緩和プランの概要を当館 HP に掲載しています。

[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/recovery\\_plans.pdf](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/recovery_plans.pdf)

◎(5月8日)ケベック州保健研究所 (INSPQ)による「ケベック州における隔離解除戦略:予測」

(<https://www.inspq.qc.ca/covid-19/donnees/projections/deconfinement>)

ケベック州保健研究所が、同州における隔離解除の影響について、ラヴァル大学と共同で行った予測(「ケベック州における隔離解除戦略:予測(Stratégies de déconfinement au Québec : projections)」)を発表。

いずれのシナリオでも、モンリオール圏では今後数カ月感染が継続する見通しであり、モンリオール圏でのウイルス感染収束が見通せない状況にあると予測。

※ 当該予測値には未確認のケース(検査をしていない、症状があらわれない等)も含まれていることから、州政府が公式に発表している統計上の確定値よりも、数値が5倍程度高くなっていることに留意が必要(例えば、現在隔離措置の下にあるモンリオール圏の5月12日付(確定)新規感染者数は約600人であるが、当該予測値では同じ状況で5月の一日平均は2400～3500人と算出している)。

【ポイント】(当館作成概要:[https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0512\\_Modeling.pdf](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0512_Modeling.pdf))

- モンリオール圏では、いずれのシナリオでも、今後数カ月感染が継続していく。

- 当該モデルは「モンリオール圏(Grand Montreal: モントリオール, ラヴァル, モンテレジ, ラノディエール, ロレンシャン)」と「その他の地域」に分けて予測。
- モントリオール圏において、現時点で隔離解除した場合、新規感染者数・入院者数・死亡者数ともに急激に増加する可能性があり、感染者数は6月初めから一日1万人以上になると予測。
- また、同圏で隔離を継続した場合でも、悲観的シナリオでは新規感染者数・入院者数・死亡者数ともに増加を続け、8月には一日の新規感染者数は平均9千人に達すると予測。(楽観的シナリオでは4月～5月に頭打ちとなり、以後徐々に減少。それでも8月を越えて感染は継続していく。)
- その他の地域については、隔離措置を継続した場合減少し、隔離解除した場合でも一定か、増えても僅か。

### ◎(5月8日)伊澤総領事からのメッセージ

ケベック州および大西洋州の皆様へ

プリンスエドワードアイランド、ニューブランズウィック、ニューファンドランド・ラブラドール州では感染拡大がみられず、状況が落ち着いていることは大変結構なことです。ノバスコシアでも、感染拡大が続いていますが、スピードは緩やかになっています。今後、これらの地域では徐々に様々な活動が再開されていきますので、そうした動きについて随時報告させていただきます。

先週、ケベック州政府も州内の経済活動等の段階的再開の方針を発表しました。徹底した自主隔離・都市封鎖が始まって2ヶ月になり、都市活動を徐々に再開する必要があることは理解できます。他方、問題はモンリオール圏の感染状況です。残念ながらモンリオールでは、毎日数百名の新規感染が報告されており、依然として感染が抑え込まれていません。そのような中で、5月の後半から、モンリオールでも小学校や幼稚園の再開等、徐々に社会経済活動が再開される予定ですが、限定的な制限解除とはいえ、感染が依然として続いている状況下活動を再開して行く場合、それがどのような影響をもたらすことになるか心配です。こうした不安も考慮してのことと思われるのですが、昨日、ケベック政府もモンリオールにおける商業や学校の再開時期を更に1週間延期を発表しました。感染状況とともに、モンリオール圏において規制緩和がどのように進んで行くのか注視していきます。

総領事館の活動は今まで通りです。皆様におかれましても、今後も緊張した不自由な日々が続きますが、感染を避けるために、十分な予防策をこれまで同様継続して頂くようお願いいたします。

### ◎(5月8日)新型コロナウイルス感染症への対応に関する外国プレス向け記者会見(第9回:概要)

[https://www.youtube.com/watch?v=q9b0Zo\\_qbuY](https://www.youtube.com/watch?v=q9b0Zo_qbuY)

### ◎(5月6日)モンリオール・アカデミー会による COVID-19 関連情報

当会有志による COVID-19 パンデミックにおける邦人支援プロジェクトの一環として、当会に所属している様々な分野のエキスパートが、COVID-19 に関する医療健康情報を日本語で随時発信しています。以下をご参考。

URL: <https://www.montreal-academy.com/covid-19> (モンリオール・アカデミー会幹事 佐藤宏明)

(注)COVID-19に関する研究は日々更新しております。当サイトの記事については、できる限りの努力をしていますが、その正確性、最新性、適切性に関して第三者に担保されるものではありません。また利用者の皆様が当サイトの情報を用いて行う一切の行為について、記事の投稿者と所属施設、アカデミー会、及び在モンリオール総領事館は、いかなる責任も負いません。

◎(5月8日)当館 HP に当館管轄州の今後の見通し(モデリング)の概要を纏めていますので、ご参照ください。

5月8日現在(ケベック州のみ) [https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0512\\_Modeling.pdf](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0512_Modeling.pdf)

4月20日現在 [https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0420\\_Modeling.pdf](https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/0420_Modeling.pdf)

◎(4月28日)ケベック州の経済活動や学校等の再開に係る特設ページがケベック州 HP に掲載されました。

<https://www.quebec.ca/sante/problemes-de-sante/a-z/coronavirus-2019/reprise-graduelle-activites-mesures-ralentissement-covid19/#c57355>

◎(随時更新)日本とカナダの間のフライトは頻繁に変更されています。在カナダ日本国大使館 HP では「日本・カナダ間の渡航に関する情報」を随時更新しておりますのでご参照ください。

[https://www.ca.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/Covid19\\_20200330.html](https://www.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/Covid19_20200330.html)

◎(随時更新)各州政府および当地報道発表による感染データの数値をもとに、状況の推移を把握するためのグラフを作成しましたので、ご参照ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/pdf/graph.pdf>

◎当地で疑わしい症状が出た場合に自分でどういった対応をとるべきか等について、ケベック州が対応ガイド(Self-care Guide)を掲載していますので、万が一の際に参考にしてください。

[https://cdn-contenu.quebec.ca/cdn-contenu/sante/documents/Problemes\\_de\\_sante/19-210-30A\\_Guide-auto-soins\\_anglais.pdf?1584985885](https://cdn-contenu.quebec.ca/cdn-contenu/sante/documents/Problemes_de_sante/19-210-30A_Guide-auto-soins_anglais.pdf?1584985885)

◎(3月26日)自宅待機中の健康上の心がけ ～ 在カナダ日本国大使館 藤川医務官からのアドバイス

### **1 規則正しい生活の遵守**

精神面が落ち込む、身体に何らかの影響があり得るため、可能な限り、起床・食事・睡眠について、通常どおり、規則正しい生活を守る。また、引きこもって運動不足になりやすいため、自宅内で体操等、意識的に身体を動かすと良い。

### **2 友人・知人等とのコミュニケーション維持**

精神面の不安を和らげるため、電話、テレビ電話等、様々なツールを活用し、いつも以上にハードルを下げて、意識的に誰かと連絡を取り合う。

### **3 新型コロナ関連情報を見聞きしない時間を確保**

ネットニュースを追いかけ続けたい気持ちは分かるが、1日30分でも良いので、新型コロナに関する情報に触れない時間を作る。特に、就寝前にスマホ等でニュースを追うことは控えると良い。

#### ■参考リンク:

・日本心理学会( [https://psych.or.jp/about/Keeping\\_Your\\_Distance\\_to\\_Stay\\_Safe\\_jp/](https://psych.or.jp/about/Keeping_Your_Distance_to_Stay_Safe_jp/) )

・筑波大学( <https://plaza.umin.ac.jp/~dp2012/covid19.html> )

・米国 CDC( <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/prepare/managing-stress-anxiety.html> )

## 2 新型コロナウイルスに係る当館管轄州の報道ぶり

※以下の情報は、報道ベースのものであり、当館が情報の正確性について保証するものではありません。

### 【1 カナダ全般】

(1)(15日)11時15分、トルドー首相が定例記者会見を行ったところ、同要旨は以下のとおり。

- 研究機関向けに給与一時補助金のかたちで4.5億加ドルを支出する。
- 給与補償プログラムを、受給資格を見直し8月末まで延長する。詳細は本日発表する。
- 学生向けの夏季雇用プログラムが始まったので、連邦政府ウェブサイトを参照してほしい。  
(<https://www.guichetemplois.gc.ca/jeunesse> - <https://www.jobbank.gc.ca/youth>)
- 学生向け緊急補助金(CESB/PCUE)の申請は今日から受付を開始した。
- 確定申告は6月1日までに行ってほしい。
- (検査と感染経路調査実施について問われ)経済再開のため重要であり、州政府と協力して行っていく。  
(過去のトルドー首相記者会見映像・トランスクリプト一覧) <https://pm.gc.ca/en/videos>

(2)連邦・州・準州首相がカナダ・アメリカ間の国境における厳格な公衆衛生対策の継続が必要であることに合意。国境封鎖措置解除は現状5月21日予定。

**Les premiers ministres sont d'accord pour maintenir les mesures à la frontière**

<https://www.ledevoir.com/politique/canada/579055/les-premiers-ministres-sont-d-accord-pour-maintenir-les-mesures-a-la-frontiere>

### 【2 ケベック州】

(1)(15日)13時、ルゴー州首相、マクカン州保健大臣、アルダ州保健局長、ドウルアン・モンリオール地域保健局長が記者会見を行ったところ、要旨は以下のとおり。(※ルゴー州首相は15日までモンリオールを訪問中。)

- 感染者のいる場所や公共交通機関ではマスク着用を強く推奨される。州政府はモンリオール市にマスク100万枚を提供し、またマスクを公共交通機関利用者に配布できるようにモンリオール圏の交通公社に600万加ドルを支出する。(質問に答え)公共交通機関におけるマスク着用について、今後人々が自主的に着用するのであれば義務付けの必要はない。
- 死亡者数が減少傾向にあるのは良いことである。
- 長期介護施設CHSLD職員全員に検査を実施する。モンリオール圏での検査実施の目標1日3,000件を達成。
- モンリオール圏のCISSS, CIUSSS(保健・社会サービス統括機関)代表との面会の結果は以下の通り:結論としては、最大の問題である人員不足、それも有資格者不足の問題について、職員の給与引き上げとともにこの仕事を価値あるものとして認めることで状況を改善することを提案する。変更すべき点は、各CHSLDの責任者と感染予防担当者がいないことである。また民間CHSLDについては指示の徹底が難しいため、これらを州有化することが考えられる。また施設の改修については自分が直接担当していく。

(2)(14日)ケベック市のメディカゴ(田辺三菱製薬子会社)が新型コロナウイルスに対抗するワクチン候補の動物実験に成功。マウスへの単回投与後10日で陽性抗体反応が出たという。2回目の実験結果を待ってからカナダとアメリカでヒトに対する臨床試験実施申請を行う予定。同社はケベックシティと米ノースカロライナ拠点で年間それぞれ2,000万本、1億本の新型コロナウイルスワクチンの製造が可能であり、2020年末までに数百万本のワクチンを用意す

ることが可能であるとしている。同社は3月初旬に SARS-CoV-2 遺伝子を取得してから20日後にコロナウイルス疑似ウイルス粒子(VLP)を製造し、前臨床試験を開始していた。今夏第1相臨床試験、2020年末までに第2相臨床試験実施を目指す。

### **Vaccin contre la COVID-19 : des essais concluants pour Medicago**

<https://ici.radio-canada.ca/nouvelle/1703057/coronavirus-covid-vaccin-candidat-medicago-quebec-sante-canada>

### **Vaccin contre la COVID-19: une entreprise de Québec soulève une vague d'espoir avec ses recherches**

<https://www.journaldemontreal.com/2020/05/14/vaccin-contre-la-covid-19-les-recherches-dune-entreprise-de-quebec-donnent-espoir>

### **Un vaccin produit au Québec bientôt testé sur l'humain**

<https://www.ledevoir.com/societe/sante/579045/un-vaccin-produit-au-quebec-bientot-teste-chez-l-humain>

(メディカゴプレスリリース)

[https://media.medicago.com/webfolder\\_download/88c93585ce0127f8df0b5951bff0ac0b/2020-05-14-animal-trials-fr/8a68dc9be1e244c0c81e424d05e5c8cc81599013/2020-05-14-animal-trials-fr.pdf](https://media.medicago.com/webfolder_download/88c93585ce0127f8df0b5951bff0ac0b/2020-05-14-animal-trials-fr/8a68dc9be1e244c0c81e424d05e5c8cc81599013/2020-05-14-animal-trials-fr.pdf) (仏語)

[https://media.medicago.com/webfolder\\_download/18976bca98bb32b23734fc6f7a85bd9d/2020-05-14-animal-trials-en/4c633d404c108007544f0c2785cae8b1745273c9/2020-05-14-animal-trials-en.pdf](https://media.medicago.com/webfolder_download/18976bca98bb32b23734fc6f7a85bd9d/2020-05-14-animal-trials-en/4c633d404c108007544f0c2785cae8b1745273c9/2020-05-14-animal-trials-en.pdf) (英語)

(3)(15日)地下鉄構内で起こる風により、感染者が放出した飛沫が2メートル以上遠くまで飛ぶ可能性がある。

### **Le vent peut augmenter la transmission du virus dans le métro**

<https://www.journaldemontreal.com/2020/05/15/le-vent-peut-augmenter-la-transmission-du-virus-dans-le-metro>

(4)(14日)州政府が景気回復のためインフラ事業に29億加ドル相当の追加支出を発表。高齢者施設、長期介護施設(CHSLD)、学校、公共交通機関等の建設・改修工事に関する発表済みのインフラプロジェクトを前倒しするかたち。

### **Québec veut relancer l'économie par ses projets d'infrastructures**

<https://www.ledevoir.com/politique/quebec/579004/quebec-devance-3-milliards-de-dollars-de-projets-d-infrastructure>

(5)(15日)プラント・モンリオール市長が、市内全長327kmの道路を、歩行者とサイクリストが利用しやすいようにする、この夏の道路整備計画を発表。

### **327 km de nouvelles voies piétonnes et cyclables**

<https://www.tvanouvelles.ca/2020/05/15/en-direct--la-mairesse-plant-devoile-son-plan-de-deplacement-estival>

(6)(15日)社説: モントリオールの小学校再開は夏が終わるまで延期となった。州教育大臣が抱えているのは遠隔で学校制度を再現するという難しい課題ではあるが、コロナ危機当初より州教育省の明確な方向性は感じられない。

セカンダリスクールの生徒(中高校生)たちは切り捨てられたように見える。パンデミックによる休みのせいで中途退学率が悪化するのを避けるため、対面授業と遠隔授業の併用やローテーション式授業実施等を検討すべきである。

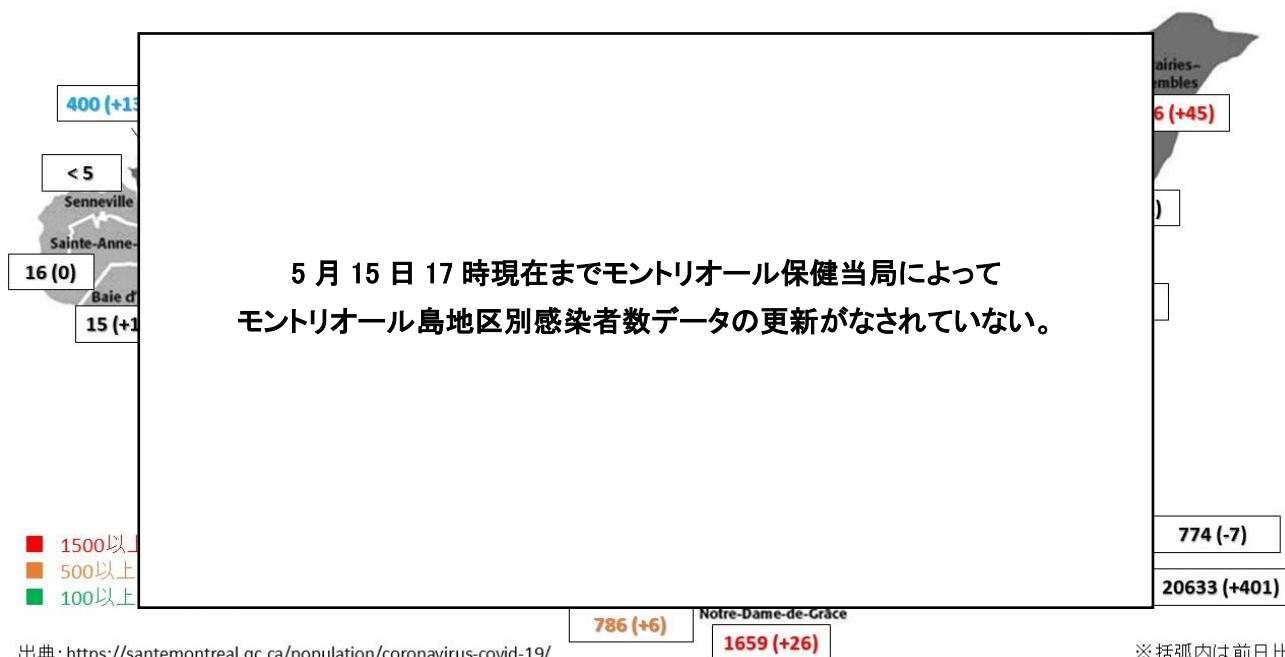
**Un casse-tête nommé Montréal (éducation)** (Marie-Andrée Chouinard, éditorialiste Le Devoir)

<https://www.ledevoir.com/opinion/editoriaux/579036/retour-en-classe-un-casse-tete-nomme-montreal>

(7)(14日)元オンタリオ州保健大臣によるオピニオン記事:カナダ保健局の新型コロナウイルス感染者数と死亡者数は不完全であり、同局が報告している死亡率(7%)も誤解を招くものである。カナダでは人口の0.2%の感染が確認されているが実際はその10倍であると考えた場合、カナダの長期介護施設における状況を除けばカナダ全体の死亡率は約0.2%となる。長期介護施設の危機が収まればカナダ全体の死亡率も低下するだろう。

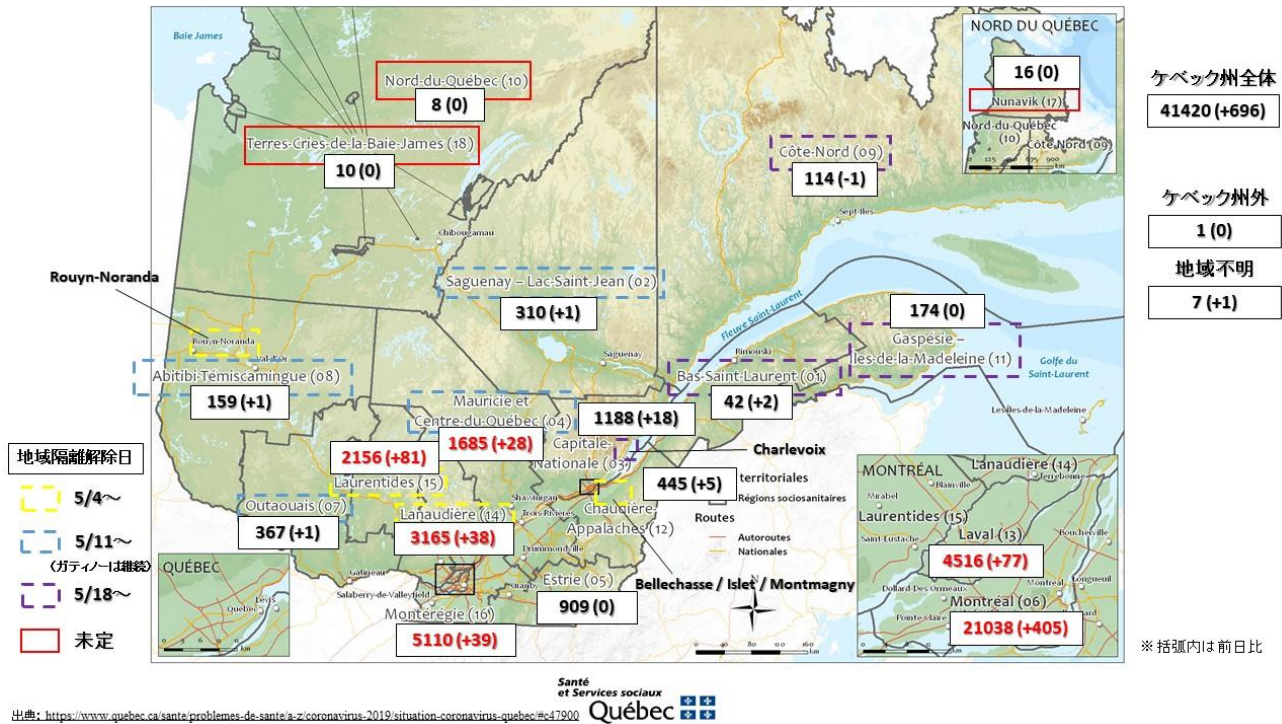
**Could COVID-19 be less lethal than we thought?** (Erik Hoskins – a medical doctor, public health specialist and the former health minister for Ontario. – Globe and Mail)

<https://www.theglobeandmail.com/opinion/article-could-covid-19-be-less-dangerous-than-we-thought/>



(参考:5月13日18時現在モンリオール島地区別感染者数)





(参考: 5月14日18時現在ケベック州地域別感染者数)

【3 ノバスコシア州】(※定例記者会見は火・水・金のみ開催の模様。)

(1) (15日) 州政府関係者による記者会見の要旨は以下のとおり。

- 4 additional deaths; all happened at Northwood long-term care home. 6 of the 8 new cases are in Northwood long-term care facility; there is still very little evidence of community transmission in NS.
- Immediate-family bubble now allowed; a maximum of two households can decide to meet/have a close connection; this two-household relation is exclusive, cannot be changed, visitors are not accepted.
- When choosing which household to accept in one's bubble, there are three main points to consider: age, occupation, and health condition. Degree of vulnerability should always be considered.
- Opening up outdoor activities, but respecting social distancing and enhanced sanitary measures and protocols:
  - (1) Beaches are opened for walks, paddling, surfing, and other activities
  - (2) Archery, equestrian events, golf, paddling, sailing, and tennis can resume; facilities can reopen as of tomorrow, May 16. Organized coaching, training, competitions, tournaments, and regattas are still not allowed.

Recreational boating has always remained open, but all must respect public health requirements.

  - (3) Open fires are still banned province-wide until June 1<sup>st</sup>, but citizens can have a fire in their backyard if using appropriate appliance like a fire pit and restricting access to their immediate-family bubble.

(2) (15日) State of emergency renewed for two more weeks, effective at noon Sunday, May 17 and extending to noon Sunday, May 31, unless government terminates or extends it.

#### **Nova Scotia Reports Four More Deaths, Eight New Cases of COVID-19**

<https://novascotia.ca/news/release/?id=20200515002>

#### **La Nouvelle-Écosse annonce quatre autres décès et huit nouveaux cas de COVID-19**

<https://novascotia.ca/news/release/?id=20200515003>

(州政府新型コロナウイルス関連サイト。随時更新中。)

<https://novascotia.ca/coronavirus/>

### **【4 ニューブランズウィック州, プリンズエドワードアイランド州, ニューファンドランド・ラブラドール州】**

#### **ニューブランズウィック州**

(1) (14日) 州政府は緊急事態宣言の2週間延長を発表。5月21日から、クラス5のオンラインでの免許更新を許可する条項が含まれる。

#### **No new cases of COVID-19; state of emergency extended**

[https://www2.gnb.ca/content/gnb/en/corporate/promo/covid19/news/news\\_release.2020.05.0274.html](https://www2.gnb.ca/content/gnb/en/corporate/promo/covid19/news/news_release.2020.05.0274.html)

(関連記事)

#### **N.B. COVID-19 roundup Province extends state of emergency, announces no new cases**

<https://www.cbc.ca/news/canada/new-brunswick/covid-19-coronavirus-pandemic-outbreak-roundup-1.5569313>

(2) (14日) ヒッグズ首相は、州内の規制緩和政策の結果と、ケベックを含む近隣州の感染状況が改善されれば、7月にも、サマーハウス所有者の入州を許可する可能性を示唆した。

#### **New Brunswick may let in out-of-province cottage owners by midsummer**

<https://www.cbc.ca/news/canada/montreal/new-brunswick-border-could-reopen-later-quebec-covid-1.5569508>

(3) (15日) 来週から、フレデリクトンの公共交通機関が再開予定。平日は、バスが3時間に一本から、1時間に1本に改善される。バス内の乗客は最大で9名に限られる。

#### **N.B. COVID-19 roundup; Fredericton transit returns to normal**

<https://www.cbc.ca/news/canada/new-brunswick/covid-19-coronavirus-pandemic-outbreak-roundup-1.5571107>

#### **プリンズエドワードアイランド州**

(1) (14日) 5月22日発令のレベル2への移行を受けて、州内4か所の大麻ショップが再開する予定。これまで再開していなかった、州所有の酒店は、5月25日に再開。

#### **P.E.I. Cannabis stores to reopen next week**

<https://www.cbc.ca/news/canada/prince-edward-island/pei-government-reopen-public-services-1.5570157>

(2) (14日) 州政府は追加の支援策を発表。コントン財務相は、コロナ緊急支援基金は増資で総額7500万加ドルと



なり、特別令状として5000万加ドルが承認された。月額給与が3000加ドル以下の、必要不可欠事業従事者については、一時支援金1000ドルを受給できる。

<https://www.princeedwardisland.ca/en/news/province-provides-update-public-services-finances>

### **ニューファンドランド・ラブラドル州**

(15日)州政府は、K-12の生徒たちについて、今学期の学校再開は行わないことを発表した。卒業成績に関しては、6月22日の週に各学区が報告し、7月6日の週に教育・幼児発達教育省が卒業成績を発行する。秋以降の教育システムについては、感染制御の様子に合わせて、オプションを検討している。

#### **Minister Warr Provides Update on K-12 Education**

<https://www.gov.nl.ca/releases/2020/eecd/0515n01/>

(関連記事)

#### **It's official: K-12 schools to stay closed for rest of school year**

<https://www.cbc.ca/news/canada/newfoundland-labrador/k-12-schools-stay-closed-1.5571072>

(了)